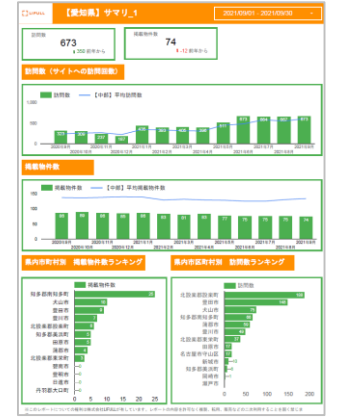


課題	全国版空き家バンクサイトの訪問者数は増加傾向が続いており、空き家利用への関心が高まっているなか、物件数・参画自治体数とサイトユーザーの双方を増やしていくことで、マッチングを増やすことが重要。全国版空き家バンクの効果・機能の見える化や作業の省力化、利便性を向上させることでマッチングを促進させる必要がある。
目的	全国版空き家バンクの更なる物件数・自治体参加数の増加 サイトの利便性向上によるユーザー獲得
取組内容	①自治体職員向けレポートの配信 ②オンラインセミナーによる勉強会の実施 ③新規参画自治体の物件情報入力代行 ④全国版空き家バンクサイトの物件検索方法の充実化
成果	①全国版空き家バンクの参加自治体増 ②全国版空き家バンクのユーザーデータをまとめた自治体職員向けレポートの作成 ③全国版空き家バンクユーザーデータ、優良自治体・団体の事例や考え方などを学ぶセミナーの開催 ④全国版空き家バンクサイトの新機能リリース

(1) 全国版空き家バンクの参画数増加のための取り組み

① 参画自治体職員向けレポート

・空き家バンク参画の自治体別ユーザーレポートを作成し、自治体別の物件登録数、物件別閲覧数、問い合わせ数等を月次で数値化、他自治体と比較させることで、参画自治体の業務参考とするとともに、新規参画自治体に対してもサイト利用のメリットを見える化し、新規自治体向けには郵送などで発送、周知した。



参画自治体

2022年1月 689市町村 (+20自治体)

② 自治体担当職員向け勉強会

・自治体職員向けオンラインセミナーを開催し、全国版空き家バンクを利用している自治体の中でも、物件数や閲覧者数の多い自治体の空き家バンク制度の運営・空き家情報収集のノウハウを学んだ。また、空き家バンク事務局が収集した市町村の空き家対策のアンケート結果、ユーザーレポートの解説を行い、空き家バンクサイトの利用方法、メリットの周知を行った。

③ 新規参画自治体の物件情報入力代行

・新規参画またはこれまで物件情報を入れたことの無い自治体向けに物件入力代行を行った。

物件情報登録

物件入力代行 +261件
 2022年1月末時点 5651件公開

(2) サイト検索機能の向上によるユーザー獲得

・物件情報を「理想の暮らし」から、市町村を「支援情報（補助情報）」から探せる機能をリリース。

